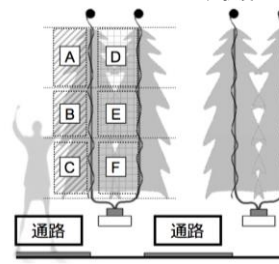
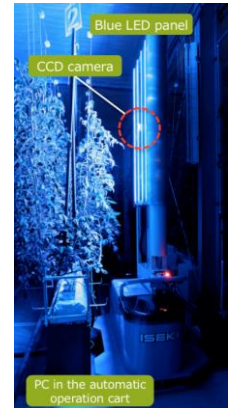
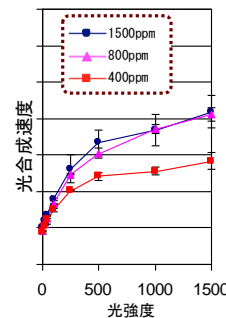




参加費
各21,000
円

各授業
定員5名

Bコース[実習]11月・12月開講分 太陽光植物工場における 生体情報計測



【主催】一般社団法人日本施設園芸協会
【事務局】愛媛大学植物工場研究センター
【概要】愛媛大学植物工場研究センターでは、太陽光利用型植物工場の生産性向上を目的として、SPA (Speaking Plant Approach) 技術*を中心とした様々な研究・技術開発を行っています。本プログラムでは、「SPA 技術を駆使した栽培管理・環境制御」を実践できる技術者の育成を行います。Bコースでは、少人数での講義と実習を通じて様々な計測技術を習得することができます。
*SPA：各種センサを用いて植物生体情報を計測して生育状態を診断し、その診断結果に基づいて適切な栽培管理および環境制御を行うというものです。

開催場所

愛媛大学農学部

植物工場研究センター 研究・研修棟 1F・2F
松山市樽味3-5-7

※個別にお申込み可能です。
※日付ごとに参加費 21,000円となります。

参加申込・お問合せ

- ❖ 参加申込HP:
<https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~kensyub/mpmailec/form.cgi>
- ❖ 問い合わせ:高橋 (事務担当 西野・間宮)
(愛媛大学 農学部・植物工場研究センター)
E-mail:zinzai@agr.ehime-u.ac.jp

日付	講師	内容
	科目名	
11/7[水]	荒木 卓哉 (愛媛大学)	トマト植物体における光合成産物の主要器官(葉・茎・果実など)への分配を把握できる安定同位体を用いた転流計測法を習得します。
	光合成産物の転流測定	
11/28[水]	高山 弘太郎 (愛媛大学)	携帯型光合成蒸散計測装置(LI-6400)を用いた光-光合成曲線・CO ₂ 応答曲線の計測技術を習得し、光合成機能評価を行えるようになります。
	光合成能力の測定	
12/13[木]	海野 博也 (PLANT DATA 株)	ラズベリーパイを活用して、植物生体情報計測につながる基本的なデータ取得、プログラミング方法などを習得します。
	ラズベリーパイを用いた各種計測入門	
12/14[金]	篠崎 隆志 (情報通信研究機構)	農業AIの重要な基礎技術である畳み込みニューラルネット(CNN)による物体識別、およびRCNNによる物体検出について、農作物の画像を用いた演習を実施する。
	農作物の画像を対象としたディープラーニング入門	

※昼食は各自でご準備下さい。